
◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇日本学術会議ニュース・メール◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

No. 972 | 2026 年 7 月 17 日

■ ■ トップニュース □ □

1. 【開催案内】日本学術会議主催学術フォーラム

「サーキュラーエコノミーの実践のための社会課題と学術課題」

2. 【アーカイブ動画配信のお知らせ】講演会「国際会議主催者セミナー」

3. 【お知らせ】特設ウェブサイト 日本学術会議の法人化について

4. 【日本学術振興会】

令和 9（2027）年度 学術の社会的連携・協力の推進事業（産学協力事業）の
公募及び公募説明会について

■ ■ -----
1. 【開催案内】日本学術会議主催学術フォーラム

「サーキュラーエコノミーの実践のための社会課題と学術課題」

----- □ □

・日時：令和 8（2026）年 9 月 18 日（金）13：30 ～ 17:40

・場所：日本学術会議講堂（ハイブリッド開催）

・主催：日本学術会議

・共催：一般社団法人資源・素材学会、早稲田大学理工学術院総合研究所

・後援：独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構、日本鉱業協会、
石灰石鉱業協会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人日本工学会、
一般社団法人環境資源工学会、一般財団法人カーボンフロンティア機構、
資源地質学会、骨材資源工学会、公益社団法人日本金属学会、
一般社団法人日本鉄鋼協会、一般社団法人軽金属学会、公益社団法人日本化学会、
早稲田大学循環バリューチェーンコンソーシアム、レアメタル研究会、
日本 LCA 学会、環境経済・政策学会、株式会社産業新聞社、
株式会社セメント新聞社、株式会社鉄鋼新聞社、株式会社日本砕石新聞社

・企画：材料工学委員会、環境学委員会、総合工学委員会合同サーキュラーエコ
ノミーのための資源・材料の循環利用検討分科会

・開催趣旨：

本分科会が今期(第 26 期)にまとめた「意思の表出(見解)」を受けて、資源循環経済(サーキュラーエコノミー)を実装化するには、循環に適したモノづくり、循環することによる弊害の回避技術、製品を再生する大小さまざまな再生ループ技術の開発の一方で、環境・社会・経済的要因が最適化されるようなしくみづくりが欠かせない。実装化へのアプローチにおいて遭遇する社会課題および学術課題を、産官学のそれぞれの立場から拾い上げ、これらを克服するための

アプローチについて、現在発展目覚ましいデータサイエンスの手法も含めて紹介、非資源国である我が国の持続的資源供給戦略を、立場を超えて議論する。

・次第：<https://krs.bz/scj/c?c=701&m=66866&v=fe1b258b&kv=202606>

・参加費：無料

・事前申し込み：必要、以下の URL からお申し込みください。

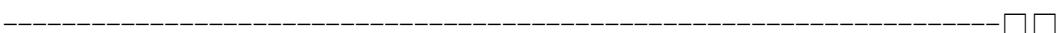
<https://krs.bz/scj/c?c=702&m=66866&v=b3f325ec&kv=202606>

・問い合わせ先：

日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当 電話：03-3403-6295



2. 【アーカイブ動画配信のお知らせ】講演会「国際会議主催者セミナー」



2025 年 12 月に日本政府観光局（JNT0）主催、日本学術会議の後援により開催した「国際会議主催者セミナー」のアーカイブ動画の配信を開始いたしました。

本セミナーは、国際会議を主催する皆様やその関係者の皆様に向けて、国際会議の誘致・開催のノウハウ等を提供することを目的として開催しました。大型国際会議の日本誘致を成功に導いた背景や、開催にあたってのポイント、地方開催における誘致・開催のポイントといった実践的な内容に加え、日本学術会議や JNT0 による国際会議への支援内容についてもご紹介しております。

今後、国際会議の誘致・開催のご予定がある方はもちろん、今後の参考として

ご関心のある方も、ぜひご視聴ください。

■視聴 URL

日本政府観光局（JNTO）主催者セミナー講演映像公開中

<https://krs.bz/scj/c?c=703&m=66866&v=3e7bd80e&kv=202606>

■セミナー内容

- ・講演 1：国際会議の開催とさまざまなカテゴリでのコミュニティ形成

廣瀬 明氏（東京大学 大学院工学系研究科 教授）

- ・講演 2：地方での国際会議の誘致・開催について

井佐原 均氏（追手門学院大学 シニア研究員）

- ・講演 3：日本学術会議が共同主催する国際会議に係る支援について

日本学術会議事務局 参事官（国際業務担当）仁林 健

- ・講演 4：日本政府観光局（JNTO）による国際会議誘致支援について

日本政府観光局 MICE プロモーション部長 巽 麻里子

【問い合わせ先】

日本政府観光局（JNTO）MICE プロモーション部 担当：小久保・小河

（Tel：03-5369-6015、Mail：shijo(a)jnto.go.jp）

※(a)を@にしてお送りください。



3. 【お知らせ】特設ウェブサイト 日本学術会議の法人化について



令和7年6月11日に日本学術会議法が成立し、日本学術会議は、令和8年10月1日に法人へ移行することとなりました。

こちらのページでは、法人化の準備状況等を掲載しております。

<https://krs.bz/sc.j/c?c=704&m=66866&v=28232522&kv=202606>

■ ■ -----

4. 【日本学術振興会】

令和9（2027）年度 学術の社会的連携・協力の推進事業（産学協力事業）の
公募及び公募説明会について

----- □ □

産学協力事業は、産学の新たな価値の芽を育てることができるネットワーク形成にご活用いただけます。このネットワークは、クローズドに議論や情報交換をする場で、組織や研究分野の垣根を越えた幅広さが特徴です。このたび令和9（2027）年度分の公募要領を公開いたしましたので、お知らせします。

【公募情報】

<https://krs.bz/sc.j/c?c=705&m=66866&v=a5abd8c0&kv=202606>

【公募説明会】

以下の要領で公募説明会を実施します。

- ・開催日時：令和8（2026）年7月22日（水）15:00～（1時間程度）
- ・開催形式：オンライン形式（zoom）
- ・申込締切：令和8（2026）年7月20日（月）15:00
- ・申込方法：参加をご希望の方は上記【公募情報】リンク先の申込フォームで

参加登録願います。

【公募締切】

令和8（2026）年9月9日（水） 17:00

【問い合わせ先】

独立行政法人日本学術振興会

基盤支援部 基盤支援企画課 産学協力係

Tel: 03-3263-1728

E-mail: sangaku(a) jsps. go. jp ※(a)を@にしてお送りください。

日本学術会議公式X

<https://krs.bz/sc.j/c?c=706&m=66866&v=e843d8a7&kv=202606>

日本学術会議 YouTube チャンネル

<https://krs.bz/sc.j/c?c=707&m=66866&v=65cb2545&kv=202606>

=====

日本学術会議ニュース・メールは転載自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のニュース・メールは、日本学術会議ウェブサイトに掲載しております。

<https://krs.bz/sc.j/c?c=708&m=66866&v=c4f222ff&kv=202606>

【本メールに関する問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関する問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局

<https://krs.bz/sc.j/c?c=709&m=66866&v=497adf1d&kv=202606>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34